

区民と区長の対話集会
「さとことブレスト」(第6回)

令和4年12月11日(日)

杉並区都市整備部 都市計画道路担当

◆第6回 さとことブレスト

開催場所：令和4年12月11日（日） 午後2時00分～午後4時30分

場所：高円寺学園（3階 多目的・ランチルーム）

参加対象者：一般応募者（高円寺）

参加者人数：20名（応募者：31名）

◆事前企画 補助221号線を実際に歩こう！

さとことブレスト前に、みんなで実際の道路を歩いて、事前に話題を共有することで、ブレストの時間を充実させる目的で実施。

JR中野駅北口から会場である高円寺学園まで歩きました。

参加者人数：12名

◆ブレインストーミング

1班5人ずつA班からD班の4班に分かれて、前半と後半の二段階に分けてブレスト形式（※）により実施。

区長は各班を前半後半1回ずつ回りながらブレストに参加。

○前半は、次の2点の内容を中心にブレスト

①お住いのまちで大事にしたいもの・残したいもの

②まちの課題や良くしたいところ

○アイスブレイク

日本や海外で最近行われている人中心のまちづくり・道路づくりの事例紹介。

・まちづくり・道づくりの最近の動向

・関連法規・制度

・全国の事例

○後半は、高円寺のまちづくりと関連付けた道に関する、自由な考え・アイデアについてブレスト。

○ブレスト終了後、班ごとに発表。

○全体での意見交換

※ブレスト：ブレインストーミングの略。あるテーマについて数人で自由なアイデアを出し合う会議の方法です。

各班の発表内容

■ A班

- ・道路計画があるから「さとことブレスト」が開かれたわけだが、道路計画の趣旨が不明で明確ではないため、不安や疑問を感じている住民がとても多い。
- ・今、すでにある道路を使って暮らしている人達は、安心安全に道路を使っている人が多い。
- ・子供を高円寺学園に通わせていた時には、通学路の安全について配慮し、いろいろな人とやり取りをした。
- ・中野の再開発は進んでおり、杉並区の区境まで進めようとしている。たかはら公園を使う子供達と大人、中野のセントラルパークに行く人達は、今の道が狭くて交通量があまりなく、車のスピードが遅いから、道を渡って行ったり来たりができています。親も安心して、行ってきていいよと言える。
- ・もし16mの道に拡幅されたら安心はなくなる。今はあまり車が入ってこない高円寺北一丁目の生活道路に車両が多く入ってくことで、静かさがなくなり、排気ガスによる空気の汚染で環境が悪化することが考えられる。
- ・道路拡幅はアクセスの向上や防災震災のために行われると聞かれますが、今、すでに実施している具体的な取り組みはあるのか。高円寺北一丁目と高円寺南五丁目には区民のための集会所がない。今度、南四丁目にある高円寺南ゆうゆう館もなくなってしまう。本当に震災が起きた時に、初期初動や近隣の人達と一緒に対策を取ることができなくなる。
- ・道路拡張をすることが防災、震災対策に繋がるのではない。まずは地域のコミュニティスペースの設置や震災救援の会を広くたくさん何度も行い、その上で、道路計画を考えたい方がいい。
- ・道路拡張すると不安。
- ・高円寺学園には校内学童で夜18時過ぎに下校する児童がいる。環七の横断歩道は渡ってはいけないのに、デイリーヤマザキからの道を小一、小二の児童一人だけで渡らせて帰らせるのか。安全指導員、支援員がいない時間である。
- ・高円寺学園にはこの計画の周知がされていない。住民周知が足りていないと感じている。今日は221号線やまちづくりに興味がある人が集まったと思うが、今日以外の人にも計画があることを周知してほしいと思う。

■ B班

- ・高円寺という文化を壊してほしくない。残して欲しい。その理由としては、活気があり人情のまちである。

- ・ 拡幅エリアでは長く住まわれている方が非常に多く、それは住みやすい地域の裏返しである。
- ・ この計画に対する住民の納得力、説明の説得力が足りないということが総意として出た。例えば、どういう調査をしているか分からないが交通量が半分になったという話が出た。ではなぜ道路拡幅するのか。
- ・ 道路拡幅の代案として、車の往来という点でいうと、南北で一本ずつ通っているの、一通にして流れを良くすれば解決できるのではないかと。そういった当たり前の発想がなぜできていないのか。実証はしたのか。
- ・ 地域のコミュニティは有効に機能しているが、長く住まわれている方が多いため若い世代、新しい人が入りにくい。
- ・ 大々的に国の方で決めた計画整備のため、それを上意下達で下ろしていくというのは高円寺らしくないのではないかと。
- ・ 予算をつけて整備するのであれば、阿佐ヶ谷の路地裏の方が色々と込み入っており、高円寺よりもよっぽど優先的に整備すべき。整備の優先順位をつけるべきところがあるのではないかと。
- ・ 防災という予算が付きやすい部分ではあるが、むしろソフト面で救える部分（初期消火等）があるであろうと。なぜそういった対策の前に拡幅を行うのか。一足飛びなのではないかと。
- ・ 道を作ると今も少ない人流がさらに減るのではないかと。
- ・ 高円寺において自転車にやさしいまちづくりができればより良いのではないかと。
- ・ 自転車置き場が歩道側からしか入れない実情があり、そうすると結局車道ではなく歩道を通らないと自転車を止められず、車道側で自転車を走らせる方向と矛盾している。そういったところをもっと充実させることができれば良い。
- ・ 歩行者・自転車・自動車等交通量があるので、それぞれの走行レーンや歩行者との分離ができればより良いまちづくりになるのではないかと。
- ・ 武蔵野市をはじめ、モビリティの活用が全国に広がっており、高円寺でも積極的に実施できれば、循環もしていき拡幅せずに済む未来があるのかもしれない。
- ・ 新しい技術の活用等、実証実験を行い検証すべき。
- ・ 高円寺は古い場所と新しいお店が混在していてそこがとても魅力的。個人商店も多くチェーン店を増やして欲しくない。
- ・ 高円寺～阿佐ヶ谷間は雨に濡れずに行けるので良い。
- ・ 家族で行くようなお店は減っている。

- ・今回のプレストは従来の説明型ではなく対話型に変わったのでとても良いと思った。

■ C班

- ・私達の班もすごく色々な話が出て盛り上がった。しかも高円寺地区ではない高井戸地区とか阿佐ヶ谷にお住いの方がいらして、その方たちから見たこの地域のことを「今初めて聞いたけど」とか「前からちょっと聞いているか」とかいうことで、そういうお話も、他の地区から見てこの道路をどう思うかっていうようなことも聞けてとてもよかったと思う。
- ・大事にしたいもの、残したいものについては、この地域は戸建ての低層住宅地帯なので、静かな住宅街で高い建物がなく、風通しや日当たりも良くて、大きな空があること。そのことに関連して、当たり前にあるものが当たり前存続し続けることが大事で、なくなってから初めて大事だったのだから気がつくというような話もあった。
- ・それから防災では、道路が防災のためということがあるが、人と人の繋がりがやっぱり一番基本に大事で、その繋がりが保たれる。そういうことが一番防災としては大事なのではなかろうかと、そういうような話もあった。
- ・どうしてこの道路を拡張する必要があるのか、その点がとてもわかりづらい、不思議だと、そういう感想を言われた方が、何人もいらっしまった。住んでいる住民としても、この道路が拡張されて、住民にとって良いことってというのは、私自身は一つも感じられない。じゃあ誰にとって便利なのだろうかと言ったら、今再開発が進んでいる中野の高層ビルが建ち、そのマンションの人たちにとっては、環七に抜けられる幹線道路ができれば、車を持っている人はすごく便利だろうと。でも杉並区の住民にとっては、ほとんど道路の恩恵というのはないというようなことも出た。
- ・他地区の方からは何が大事かという、徒歩と自転車で行けるような安全な道路が必要で、車社会になるっていうよりも、徒歩と自転車を中心にした道路の方が良いんじゃないか、という話もありました。
- ・最後にどういう風にしていきたいかという点では、この道路拡張が一直線の道路になっているが、曲がってもいいのではないかと。それから公共空間として考えるっていう、そういう視点も大事で、そうであれば道路だけがその公共空間なわけではないので、いろんな公共空間の使い方というのをも考えて、高架下のこともそういう範囲で考えて、道路拡張、道路の一直線に通すだけが公共空間ではないという話が出た。
- ・あと、大事にしたいことで緑とか緑地が大事だと。多様性についても話が出て、多様性を残

すとか、多様性をつくるとか言うけれども、昔からある街は多様であって多様性があったと。それを開発の名のもとに多様性をなくしていくというのが最近のいろいろな出来事であるので、昔からある多様性をぜひ守ってほしい、残してほしいと。そういうふうな開発によって多様性が失われてしまった阿佐ヶ谷のけやき屋敷とか、そういうこともいっぱいあるので、そこをぜひ考えてほしいということがあった。

■ D班

- ・ここの班も居住者、地権者、様々な方がいる。
- ・残したいものとしてはやはり閑静な住宅地。広い道路がなくて隣と近いコミュニティができていたため、それを壊して欲しくないということ。
- ・それからこの道路ができると建ぺい率が変わりマンションができるのではという危惧。例えば事例としては高円寺から環七までの間の道路の形状がそのままこちらに来るということを想像したら非常に困るといふか寂しい思いをすとの意見が出た。
- ・建ぺい率が変わり高い建物ができるとしたらその雰囲気良くないという人もいた。ただそれは当然地元住民の方からいろいろ批判を受ける。
- ・道路計画に関しては歩道に関してやはり先ほど皆さんおっしゃられたように歩行者に優しい道路が重要である。
- ・自転車と歩行者の関係が今、非常に対立関係にあって電動自転車がスピードもあり非常に危険を感じる。
- ・まちの課題として、民間の緑が多い話が出て、保護林に関し補償がないため世代が変わるとどんどんなくなっていく。何か対策が必要との話が出た。空き家対策も。
- ・大きな課題の部分だが、その地域コミュニティの中で非常に孤立した老人とか悩みを持っているお母さんとかお父さんに対してのそのコミュニティを作っていけるような仕組みがないかっていう意見も出た。
- ・ガード下のところに公園ができて暗くて怖いという話があったが、そこら辺に関してはそのソフト面および地域コミュニティの関係で改善したらいいものができるのではという意見も出た。
- ・緑と空間というところで話が出た。
- ・道路が広がった分だけ、その左右の横断形状等々で地域が分断されて扱いにくい状態になるのではという懸念も出た。
- ・この道路が必要かどうかって話に対してはあまり深い議論にはならなかった。ただこの道路を作ることによってメリットがあるかという話に関しては、緊急車両、ちゃんと動けないような道は困る、それから車も止まって年寄り・子どもが安心して歩けない、といった意見が出た。道路に関しては当然今狭いので、広がって緊急車両が通りやすくなったり、道路と車道の区別ができるということで、道路のメリットはあるという意見もあった。

■その他、全体を通しての意見等

(注：ブレイクタイム中で出た意見)

- ・イメージで外国のガード下の利用状況などが公開されていた。あたかも今回の補助 221 号線のガード下がそのようなイメージに重なるかというふうな感じに何か捉えてほしいというような画像であったので、現実と非常に離れているということを言いたい。
- ・私は長いことここに住んでいるが、ガード下はすごく低い。昔は子供が遊ぶ遊具があったが、誰も遊んでいる所を見たことがない。暗くて怖くてとても子供なんか遊べるような状況じゃない。したがって、遊具を作る、明るい綺麗な芝生を作るなど、全く違う外国の風景を出して、あたかもこういうイメージになるというイメージ戦略は非常に心外である。今はトランクルームとなっているのが現実であるため、イメージ戦略で違ったものを出すっていうのはやめてほしい。
- ・JRの利用方法というのは道路拡張と一体化しているものだと思う。道路拡張そのものにはいろんな問題点があって、道路拡張を前提とした、JRの高架下はどういうものがあるかっていうことに関しては、住民は直接話に乗るということにはならないと思っている。

岸本区長の発言内容（プレストを終えて）

- ・お集まりの皆様へのお礼。
- ・今日も熱い議論が繰り広げられた。
- ・各班の発表は素晴らしく、多様な意見がある中でまとめることはできないながら、色々な観点を共有していただいて、みなさんのスキルの高さに感銘している。
- ・私がピックアップしたい自分にとっての学びは、一回目の町会や地権者の方との回と比べて、かなり顕著にこの道路は「拡張をやる意味がわからない」、「メリットが感じられない」という意見が多かった。
- ・(高円寺の回) 一回目は、道路を作ることは決まっていることなので「せっかく作るのならば良いものを作ろう。こんなにお金も時間もかけるのだから」と。たとえば高架下の話とか、公共空間としてどう使っていくか、地域の方と一緒にやっていくか、などが割と多かった。参加者によって違いがあることが非常に興味深かった。
- ・道路ができるにしても、できないにしても、すぐにでもやらなければいけないことがあるのではないかと、ということがみなさんのお話の中からわかった。それは安全性、特に子どもたちの安全性と、それから防災、ソフトの面。道路があってもなくても、広くても狭くてもやらなければいけない、というお話が多かった。
- ・安全に関しては、特に 221 号線の高円寺側からの入口のところで、今すぐにでもできることをやらなければならないことがある、という指摘があった。
- ・学校の通学の時間、保育園も含めて、車両規制というのを他のところでは十分やっていて、何でここではできないのか、というお話。これはすぐにでも持ち帰りたいと思った。
- ・「道路ができる」ということがあるから、防災やソフト面が逆に進まなかったり、(将来は)安全になるんだからということで、なおざりになるというのは本末転倒なのではないか。住んでいる方たちも、子どもたちも今まさに安全が必要というのが、今日の議論で非常に強く学んだこと。
- ・新しい道路があれば「明るくて綺麗で良い」という意見がある中で、「帰ってきてほっとする、ほっこりする、レトロなものがあると良い」という意見もあった。何を良いとするかも世代によって異なる。世代を超えて感覚は変わっていくし、レトロという言い方が適しているかわからないが、そんなお話も興味深かった
- ・今まで、この計画があることを漠然とは知っていたが、「えっ？まさかこんなことまで進んでいるんだ！決まっているんだ！」というのを何で今まで私たちは知らなかったのか、ということも重要と思う。
- ・そして住民と行政の関係。この回もガス抜きで、一方通行は依然として変わらないのではないかと、という至極もつともなご指摘もいただいた。住民と行政の関係は今までもそういう傾向があっただろうし、変わってきたとはいえ、決定するのは結局行政という、歴史とか現実感があるのも事実だと思う。
- ・私たちの努力というのは、せっかくこういう場を持っているわけなので、これによってプロセ

スそのものが変わっていく。場合によっては、結果が今はひとつの写真（青写真、設計図の意）であっても、写真はいくつもあるだろうし、そこに向かうプロセスも違うだろうから、それを皆さんと作って参りたい。それが対話、熟議だと思っている。みなさんの住んでいる地域、みなさんの住んでいる杉並区だからこそ、それを続けていきたいので、今後ともどうぞよろしくお願いします。

(ブレインストーミングで出たご意見)

- ・まち歩きを終えて、よく通る道路があつという間に更地になり、今、建設が進んでいると感じた。昔の様子を知っている人間からすると、本当に胸が痛む光景である。家々が建っていたので、いなくなりたくない人もいただろう。新しいマンションに入りたいと思っていた人もいたかもしれないけれども。
- ・中野区にタワーマンションが建つ。区境として地図上では切れるけれども、杉並区の住民からしたら道路は繋がって利用しているので、考えていきたい。
- ・中野区から杉並区の中央線沿いを歩いてみて、寂しく何もなかった。いい店やいい喫茶店等、何か店があつてほしい。汚い地区だと思った。
- ・新しい店は少ない。

- ・杉並区の高円寺北一丁目の住民に対し、中野区の100m級マンション3棟建設の説明はなく今まで計画が進められている。住環境をどのように守ってくれるのか、杉並区にきちんと対応してもらわないと困る。
- ・まちあるきを終えて、再開発がこんなに進んでいるのかと思った。建物が多く壊されていたのが印象的だった。
- ・中野に行く時に通る道路であり、アクセスがよく、中野まで時間をかけずに行ける。随分と寂れたところがあるのだなと感じた。ちょっと工夫をすともっとよい道路になりそうだなと思いつつながら、いつも自転車で走っている。

- ・自転車で通っているが、車通りが少ないのですごく安心して通れる道である。今のよう安心感ほしい。
- ・道幅が狭いからこそ大きい車両が入ってこなくて、制限速度が20Km/hで車の数は多くない。歩道や自転車レーンがあるわけではない。

- ・たかはら公園に、高円寺南や北、環七を渡って高円寺南二丁目や四丁目、セントラルパークから子ども達来る。土日は数が多い。公園へは小学校の中学年や高学年になると、歩いたり自転車で乗ったりして行く。
- ・危なくない道だから「子ども達だけで、勝手に行ってきていいよ」と、親は言える。大きな事故に遭う危険性がないため。右や左を見て渡ることができるのは、この道のいいところだと思う。
- ・横断歩道と信号がない。歩行者と自転車が車利用者より強い道路であり、車利用者は避けたり止まったりする道路である。ほぼ自転車と歩行者が優先になっている珍しい道路である。

- ・高円寺学園や保育園の親子が朝、行き来している。制限をして通り抜けの車を減らし、親子がゆっくり歩ける道路になれば、なお安心できる。

- ・車を通れないような道にしてほしい。
- ・住民には必要な生活道路かもしれないが、中野の駅前まで真っすぐに行けない。セントラルパークも車止めがあって入れない。この道路を使用してどこに行っているのか。中野まで行く必要はない。
- ・南北方向に抜ける道路は何本かあるが、それぞれ狭い。
- ・狭いし、早稲田通りまで抜けている道はない。絶対に止まる。環七まで出ないと、早稲田通りまでは行けない。
- ・結局、この道を大きくしたとしても抜け道で入って行っても、絶対にどこかで止まって環七に行くから、絶対に滞留する。中野の計画でも中野通りまで通さないことになっている。タワーマンション住民のための道路である。
- ・今、杉並区の住民は暮らしていている。商業ビル、複合ビルが中野に建つと店舗が入るから、店舗の資材や商品を環七から通したい物流目的の計画ではないか。高円寺住民には必要なく、求めている。
- ・大きい道路になると、危ない。子供の通学路なので。事故は大きい道路で起きる。
- ・小中一貫校の高円寺学園の小学部低学年達は、学校内学童で下校が 18 時や 19 時になる。今、環七は小学生が渡ってはいけないことになっている。横断歩道ではなく、歩道橋を使う。環七を渡ってはいけないのに、拡幅された 16m 道路を渡らせるのかという問題がある。学童下校時間帯に指導員はいない。
- ・今でも心配して送り迎えをしている保護者はいる。
- ・通過する車は、タワーマンションに行く車や 1 分でも 2 分でも早く通りたい車である。生活している人達は必要ではない。
- ・生活している人達は、車を使用してこの道路に出ていることはあると思う。
- ・大きい道路になっても信号が付けられるわけではないと思うから、通過の自動車やマンション利用者による通行者が増えた場合、今より道路が通りにくくなる可能性がある。
- ・今まで通行量がなく行き来できていたのが、大きい道路を使う人達に阻まれてなかなか行き来ができない。歩行者と自転車も今まではどこでも渡れたが、限られた場所でしか渡れなくなったら、渡るために回り道が必要になりめちゃくちゃ不便である。
- ・今の計画道路では、建物を全部壊すことになる。高架下には店を作れない。
- ・高架下は使えない。
- ・住んでいる人にとって、道路が 3 倍近い広さになることは相当怖い。
- ・子ども達は今まで通っていた道路が広がることは想像できないし、親も危なくて通らせられない。高齢者などが車に轢かれた事故もあったけれど、信号がないところは行っちゃえと思う。

- ・子どもや老人は特に今まで渡れた慣れた道路を渡り、事故に遭うのではないか。道路が拡幅すると、車のスピードは今より倍以上で、車の大きさも大きくなると思う。歩行者優先から車が主流の優先道路になる。
- ・歩道がなく朝の時間は車が多いため、道路脇に住んでいる子供以外の高円寺学園の児童は、登校時この道路を使ってはいけない。下校時は自由に通ってよい。道路が大きくなると怖い。環七から渡って来なきゃいけない子がいるというのも相当問題になると思う。環七を通わせたくないから、わざわざこの高円寺学園に通わせたのにもと思う人はいると思う。
- ・道路を拡幅したら、車利用ではなく、緑地と自転車レーンの設置でよいのではないか。そもそも地権者が立ち退きに反対していることが問題である。便利だから広げてほしいと言う車利用者と、住んでいる人の生活のどちらを天秤にかけるのか。地権者でない人は考えるべきだと思う。
- ・道路が広がることで町の価値が上がり、資産価値が上がることを住民はどう考えるか。
- ・何が価値かは、閑静な住宅街であることだと思う。通り抜けられる車が生活道路まで入り込んできたら、閑静な住宅街の価値がなくなってしまう。日当たりも悪くなる。いいことがない。
- ・資産価値が上がると、税金が上がるだけ。
- ・人によって価値は違う。お金だけではない。今まで暮らしてきて得た土地への愛着や思い出が価値だと言う人は多くいる。
- ・住民から道を通してほしいと出た計画ではない。この計画で、西荻も高円寺も住民は対立する事態になっている。もしかしたらお金をもらい田舎に引っ越そうとする人はいるかもしれないが、ずっとここで暮らしていきたいと思う人もいる。この計画によって意見が分かれる。
- ・今まで仲良く祭りや行事で顔を合わせていた人達が、反対派と賛成派でコソコソやらなくてはいけなくなる。行政が住民を分断している事態をどう考えるのか。この計画がなければ分断はなかった。
- ・仮に道路ができるようになって、高い建物が建てられるようになり資産価値がもしかしたら上がるかもしれないが、道路の際に住む人達を追い出してまで上げるような価値はあるのか。
- ・住民にとってはコミュニティや商店、閑静な部分が重要だけれども、区やもう少し大きい範囲で考えると、町全体が区として活性化されて価値が上がったほうがいいよねと考える人達もいて開発が進むのではないかと思う。
- ・住んでいる人達が活性化しなくてもいいと思っているのだから、活性化しなくてもよい。
- ・活性化の目的のために道路を広げるわけではない。目的が全然分からない。
- ・活性化は仮の例えである。

- 仮に道路を広げたとして、どうしたいのか。大きなビジョンは何も伝わっていない。ただ広げたいし、防災のためと言っている。
 - 飛び火は道路を広げたとしても起きる。しかもビルが建つ。ビル風は予測不可能。2019年くらいの台風が来た時に、ビル風でセントラルパークの2mの大木が根こそぎ倒れた。
 - 中野の計画ではビルを建てて緑地を作り、4m道路を10m道路にして高円寺と通しますと言っている。まだ住んでいる人達がいる西地区を残せばよいのと思う。
-
- 今、広い空き地になっている場所がある。
 - 祭がなくなり、地域コミュニティは破壊していく。
-
- デイリーヤマザキの北側（横断歩道の手前）の植林された場所を区が買い取ってどうにかしてほしい。朝、児童生徒や学生、通勤者が信号待ちをする場所がなくて危ない。
-
- 排気ガスの環境問題がある。環七だけでも相当問題はあるのに、16m道路に拡幅され交通量が2倍や3倍になり、生活道路にも商業用トラック等がたくさん入るようになると、住環境は破壊する。道路脇に住んでいる人達だけではなく、道路周辺の住民にも問題は広がる。
-
- 災害が起きた時に、中野の問題ではあるが、今46件、こちらも50件くらいしか住んでいなかったところに、80mや100mのタワーマンションが3棟建つことで、4,000戸か4,000人の物凄い人数が来る。防災はどうするのか。何かあった時に46件を受け入れる避難施設と、何千人も受け入れる施設はあるのか。杉並区の高円寺公園や高円寺学園も拠点にたぶんなると思う。
 - 中野の駅前再開発が今、南北共に凄い。道路そのものはそれだけの需要を満たす道路がないのかかわらず、まちづくりだけを先行させてどんどんタワーマンション作りを行い、道路が狭いから大変だと後から言い、中野通りを広げてみた。広げるといってもすぐに道路は広がらない。
-
- 半世紀前の道路計画なのだから、今の時点で今の視点にたって計画を見直す必要がある。
 - この道路計画に何も理由はない。
 - 区民が納得できるような理由はない。提示していない。
 - 計画の理由が明確であれば、議論の方向性が変わるのか。
-
- 道路を利用している立場からみると、道路の利便性がよくなる可能性があり、緊急道路として使用する可能性が出てくる。防災や緊急の面からみて、道路拡幅によって利がでるとはいえないか。
 - 住民はこの道路以外の場所に多く住んでいる。道路を拡幅しただけでは、圧倒的多数の住民にとってメリットはない。防災対策と言うのであれば、避難場所に行けるように生活道路の電柱を地中化すれば一番メリットがある。
 - この地中化計画は何も出てきていない。

- ・緊急車両が通るのは環七や早稲田通りである。この道路にも問題なく緊急車両は入ってきている。
- ・道路の無電柱化はしてほしい。221号線から北の生活道路の無電柱化も同時に計画しないと、意味はない。
- ・高円寺に住んでいない者にとって、安全が重要だと思った。道路が拡幅したら学校が近くにあるので児童生徒の通学への安全配慮が必要になる。今も住んでいる人達を無理にどかすのはよくないと思う。
- ・道路がきれいになったら素敵になるのではないか。
- ・今のこの道路の雰囲気が好き。新しく作るよりも懐かしいような安全で地域に密着した町が素敵だと思う。
- ・町をこまめにきれいにしていくことが必要だと思う。
- ・建物自体は古くなっているところが多くなっているので、耐震化や不燃化等はしたほうがよいと思う。しかし、道幅を広げるには犠牲になる人がいることを考えると、そこまで広げるための明確の理由があるのかが今のところ見えてこない。
- ・大学や公園ができたことで、歩行者や自転車利用者の数は増えた。車の数は減っている。区の情報が出ている。住民が自主的に交通量調査もした。朝、車は一時間で60台、80台くらい。
- ・前に比べると、かなり減っている。
- ・だいたい区の情報と交通量調査の結果は同じだった。
- ・ユーザビリティやバリアフリーの観点からすると、この道路は到達できていない。車椅子利用者にとっては、歩道がないため優しくない道だと思う。解決策を住民が考えることは大切だと思う。
- ・時間帯による交通規制を行えば、安心して歩行者は通れるようになる。
- ・高円寺学園の通学路なので本来はスクールゾーンを設けてほしいが、行っていない。
- ・小学校周りの道は普通設定されるのに、今なされていない。
- ・速度は規制されている。
- ・時間帯の制限について、地域住民の反対があるのだろうか。
- ・環七の部分は公有地ではなく東京都の土地になる。信号待ちの子供達にとって、植林された樹木が邪魔で、自転車が通っているため、朝はとても危ない場所である。広くなり信号待ちができる場所にしてほしい。車の脇をすり抜けて通っているため、今ある停止線の場所も下げてほしい。
- ・木は他の場所へ移植してほしい。

- ・今でも危ない場所なのに、道路を拡幅したらより危なくなる。
- ・道路拡幅をすることで、健康や治安、住環境の確保はできるか。拡幅して担保できるものはないのか。閑静さや景観のことを考えると寂しい町になるのではと気にはなる。
- ・道路の拡幅とは結び付かない。まちづくりの課題として、住民の思いを作ることであれば解決していく問題だと思う。防犯や治安の問題は、住民と意思疎通が図られているかどうか。道路で解決はできない問題である。
- ・町は進化していかないと廃れてしまう。一人の人生のライフスタイルの中で考えると、町は長いスパンで考えていかななくてはならない。常に新しいものが入っていくことでコミュニティが生まれ、次の世代へ景観や機能に関わってくると思う。道路の役割はあると思う。
- ・仕事と自宅の行き帰りしかしていないと、退職後、地域に入ろうとした時に入れない。すごく壁がある。どんなまちづくりができるのかが今の課題である。地域の人達が自由に出入りや利用ができ、話ができるコミュニティ施設ができるとよい。高齢者が増えており、認知症の予防に繋がり相談事もできる。道路を広げるよりも先に施設設置を行うことが、町に住んでよかったなと思い、安心安全に繋がるのではと思う。
- ・高円寺北二丁目で夜間パトロールをした人達がいた。パトロールを行うことで、心配になる人達がウロウロしなくなったと聞いた。そういうものなのかと思った。
- ・二丁目は高円寺あづま通り商店街があり、週に2、3回パトロールをしたところ空き巣や不審者が本当に減ったと聞いた。商店街やリタイヤした高齢者が多いが、パトロールで情報交換ができたそうだ。
- ・道路拡幅は防災や防犯のために行うと言われるが、地震や火事が起きた時の初期初動や初期消火ができるのは、地域の人達がどれだけ連携して、どこに誰が住んでいるかがわかり、すぐに情報伝達ができることが大事になってくる。
- ・南北で道を行ったり来たりすることで、友達に会い、認知症の防止になっている人達がいる。道路拡幅で住めなくなる人達がいることを考えると、コミュニティは分断する。車の人は便利になるかもしれないが、居住している人達にとっては、便利さよりも不便さがでてくると思う。
- ・道路イコール車のための道路だと我々は考えている。さっきのスライドは有効的だと思う。地域の人達が使える拡幅道路の考え方から、道路拡幅後の活用の仕方への考え方も価値があるのではないか。
- ・今の計画は、戦後の計画である。
- ・周知の仕方を考えてほしい。今回は、計画に興味があり広報を読んで申し込んで集まってきた人達である。高円寺学園の人達への説明はどうなっているのか。全く行われていない。学園の

保護者は知らない。子供の安全に大きく関係することなのに。計画がここまで進んでいるのに、説明をするのが遅すぎる。

- ・地域の人達と区は、うまくコミュニケーションが取れていない。
 - ・事業決定しているから計画をするのではなく、住民の意見を聴いてほしい。
 - ・何のためのプレストなのか。ただ話を聴いているだけなのか。
 - ・買い取っている土地はない。測量を始めると言っても、全部やっているわけではない。「計画を止めます」と言えば済む話である。
 - ・計画を止めてほしいと粘り強く言い続けるが、その前の時点で、住民や学校及び保護者への説明が全然足りていないから、まず知らせることが大事である。
-
- ・この5人だけでも多くの人が計画に反対である。
 - ・新しいものは新しいもので価値があると思っているから、その価値が何なのかが気になる。なぜ道路拡幅をするのかという理由が住民のニーズと合致しない、もしくは巻き込んでいないところが問題であって、計画の理由をまずは知りたい。
-
- ・過去の住民説明会でされた計画の理由は、2つある。1つ目は、住民の高円寺と中野へのアクセスの向上である。2つ目は、防災震災対策である。道路を広げ電柱を地中化し、震災が起きても通れる道路にする。
 - ・既に住民はアクセスできている。
 - ・住民にとって何のメリットもない。
 - ・生活道路に住民は多く住んでいるのだから、理由は成り立たない。もし無電柱化の計画を実現するのであれば、生活道路付近の無電柱化が先である。
 - ・生活道路の無電柱化はできないらしい。道路拡幅をしないといけないから。京都や練馬区等どこでも行っている。やる気になれば。理由にならないと言っているが、相手が悪い。
-
- ・3つ目を付け足すならば、交通安全である。子供達の安全と言ってはいるが、時間制限をして車を通れなくする等、今、なぜ安全をやらないのか。やらずに安全と言っている。車にとっては通りやすい道にはなるけれども、生活住民にとって安全と言えるかどうかはいろいろな意見がある。
-
- ・アクセスの向上はナンセンスだと思う。
 - ・防衛費のことが頭によぎる。防災や震災に対して、道路以外に実現していることや進めている取り組みはあるのか。例えば町会や、震災救援所等。学校だけではなくて。区は防災のシミュレーションや子供達に向けてできることが他にあると思う。
 - ・区が言っている理由は建前であり、その先に本当の理由があると思う。
 - ・本当の理由は、タワーマンションを高く売りたいのだと思う。
-
- ・今が 5.45mだから3階建てまでだけど、16mになったら今よりも高い建物が建つことになる。

日陰になる。

- 住民としては景観も大切にしたい。
- 今の家を売って、マンションを建てたい人も出てくる。売ると、さらに町の分断を生む。

- 計画範囲の人は、土地代だけしか補償はでないのか。
- 土地が削られると生活がしにくい。削られた部分を残しておいても実際、売る時に、財産価値としては、これだけ使えたものでもこれだけしか使えなくなるから価値が落ちるとなる。商売ができなくなる店が出てくる。一部だけ残されても使いようがない。
- 一部だけ残してどうするのか。売るのか。ただの空き地になるのか。
- 買い叩かれると思う。

- 住民からすると道路拡張はほとんどメリットがない。
- 自分が住んでいるところで、道路をつくるから家を出て行ってくれと言われたらどんな気持ちになるか。
- 問題である。少しずつ土地が削られてしまう。立て替えても建ぺい率に入ってしまう。

- 都市計画道路が残っているのは東京都ぐらいであり、全国ではどんどん廃止されている。国土交通省は自治体にその地域に見合ったやり方で計画を変えていきなさいと通知を出しているにも関わらず、東京都だけが頑として計画をやろうとしている。下部組織の自治体は従うしかない。
- 事業認可が下りていても、立川や調布は廃止に持ち込んでいる自治体がある。認可が下りているからやらなくてはいけない、という法はない。

- 戦後で80年近くになる。その計画がそのまま今の住民に合わせられること自体が嫌だし、いきなり「これだから移動して」とか、「いつまでに結論を出してね」と言われるのも嫌である。もう一度、まっさらにしたほうがよい。

- 優先道路だと東京都から補助金が出る。儲かる人がいる。
- 事業認可が東京都からたった3か月くらいで下りた。本来は一年ほど時間がかかるのにおかしい。

- 防災に関して道路の拡張以外で、できる手段を区として何か考えた上で、区として何もありませんということなのか、何か努力をしているのか。コミュニティスペースを作ってほしい。
- まちづくりは道路だけではなく繋がっている。道路だけを拡張して何か解決するのではなく、もっと細かいところ、住民が何を必要としているか、どのようなことに困っているかを聞き取った上で居場所を作る。今は居場所がない。

- さっきのスライドのように、高架下にコミュニティスペースを作ることはどうか。

- ・高架下に作ることはできない。
 - ・現実には難しいと思う。
 - ・いくら代案を出したとしても、実際に住んでいる人を追い出した上で成り立つのが問題である。そこは乗り越えられないと思う。そこまでののか。
 - ・差別の感情と一緒にいる。自分達の権利を守るためにマイノリティの人や声を上げられない人を犠牲にしてよいのかという話に繋がってくる。利便性や町の賑わい、地価の上昇のために。古くても寂しくても住んでいる人達を犠牲にすることがいいのか。社会構造の問題に繋がる。
 - ・価値観の問題にも繋がる。新しいものや目新しいものがよくて、古いものに価値がないとする価値観をつけようとしている。そこを考え直さなくてはならない。
 - ・資産価値と住んでいる人達の価値は一人ひとり違う。
-
- ・正直、計画があることを漠然と知っていたけれども、ここまで具体的に話をする機会がなかった。何でそういうのがないのだろうと不思議に思った。区報等でしか接する機会がなく、接しているつもりだが、受け取り切れていない。区にやられちゃっている感があり一方通行だと感じる。このような機会はすごくいいなと思った。ただし、解決手段が我々にはないことがすごく怖い。
 - ・この会が区に与えられる影響が気になる。区の方針にどのように影響を与えるのか。最初に話があったように、「どうなるかわかりませんが」と区に言われてしまうと、私達が今、共有ができたものや気持ちを区とも共有できるのだろうか。区と隔たりをまだ感じる。
 - ・会に、区長が入ってくれているけれど、区の担当者はなぜ入らないのか。
 - ・区民はいつもガス抜きで、意見を出すだけで終わってしまう。
-
- ・決まっているから仕方がないが、半世紀前の計画で未だ続いていることが驚きである。区長が変わり初めてこのような会が始まってすごいなと思う。
 - ・区長に話を聞いてもらって、自分の声をここで生かし、計画をストップさせてほしい。ぜひ止めてもらいたいなと切実に感じ思っている。
 - ・行政の一方通行のイメージしかなかった。計画を後で知り「ああ、そうなんだ」と納得するのではなく、いろいろなところから来た人と話し合い、こういう状況なのだを知り、区長や区の人もいらっしゃる場が、これからも機会があるとよい。
-
- ・木密地域に住んでおり防災がすごく気になっている。住んでいる側からすると道幅が広くなる方がよいと思う。
 - ・コミュニティを残したい。
-
- ・小さな商店、個性的な店が多くそういった経済圏がきちんと回っていてそれこそが生活で、それが高円寺の魅力だと思う。
 - ・大きな道を通すと建蔽率等建築の基準が変わり、まちが様変わりしてしまう。
 - ・今回の道路拡幅の理由はわからないが、今のままが良い。

- ・まちの様子を変えようとするのであれば、変えようとする側がきちんと理由を説明すべき。
 - ・これだけ大きな変化をさせようとするのであれば、地元民側としてはこのままで良いと思っ
ているのだから変えようとする側がきちんと理由・根拠を示すべきだと思う。
 - ・70年も前の計画で、生活様式も変わっている。技術革新もしている。
 - ・今の計画に技術革新の部分は反映されているのか。交通量であれば今は AI で測ることが出来
る。今の革新的な技術がどれだけタイアップされているのか疑問。
 - ・防災の件は理解できるが、道路を広くしなければ防災できないかということそうではないはず。
-
- ・区内のトイレがいろいろなところにあるが、例えば高円寺駅のトイレは、夏場はかなり臭いが
あり、あまり使う気にならない。トイレがあるというのは良いことだが、どうせトイレを作る
のであればメンテナンスをもう少しきちんとできないものか。
 - ・清掃業者でもきちんと清掃する人と、いい加減な清掃をする人がおり差がある。清掃後にトイ
レを訪問しきちんと評価を行って、清掃がきちんと行われていない箇所については業者の見直
しや指導を行う等すればもう少し状況は改善されるのではないか。
 - ・もし道路拡幅に伴いトイレを新設するのであればきちんとメンテナンスを行ってほしい。また、
安全面についても防犯カメラの設置を行う等して夜でも安心して使用できるものにしてほしい。
-
- ・善福寺川は昔、どぶ川だった。今のように底が見えるような川ではなかった。今は確かにきれ
いになって良くなったが、夏は草がかなり繁茂している。また、植栽も行っているようだが雑
草がたくさん生えてしまっている。予算の関係もあると思うので難しいとは思いますが、やるので
あればきちんときれいにしてほしい。
-
- ・何かを作るのであれば作りっぱなしではなくて、きちんと維持・メンテナンスするところまで
考えて作るべき。
-
- ・阿佐ヶ谷のけやき並木みたいところは、木がどんどん大きくなって安全の問題は出てくるの
かもしれないが、できる限り残してほしい。五日市街道沿いにもそれなりの木が植えられてい
たが全部伐採され、低木と雑草ばかりになってしまった。やっていることは理解できるが、や
はりメンテナンスのことは考えてほしいと思った。
-
- ・休日だからかもしれないが人がいない。あれだけお金をかけて開発している割には賑わって
いないのはどういうことなのか。やはり今のようなやり方をしていると魅力がないのだと思う。
 - ・今、阿佐ヶ谷も再開発しようとしているが、チェーン店のような決まった店が入るような開発
の仕方や、中野でやっているような大々的なやり方を他の駅に持ち込んでもうまくいくわけが
ないと思う。
-
- ・今回の道路拡幅計画のためになぜ住民が犠牲にならなければならないのか。
 - ・交通量は必ず増えるので、防災とかの問題ではない。

- ・防災というのはどこでもついて回る話なので真に受ける必要はない。
- ・当該エリアで消防車が通っているのを子供のころから何十回、何百回と見てきたが全く問題ない。区境から中野区囲町の方は路地裏になっていて、区画整理を行う必要があるように思うが、当該エリアは全くそんなことはない。
- ・高円寺というのは独特の雰囲気を出している場所なので、今の計画が進めばそれが壊されてしまう。まちの賑わいが無くなってしまう。
- ・道幅を広げるとことはまちの賑わいを消すということ。
- ・中野区と同じ形で計画を進めても失敗する。杉並区は杉並区なりのやり方というのかあるし、住んでいる人たちは終の棲家として住んでいる。今回の計画も1年半程前に初めて知った。
- ・天皇家とつながりがあるお屋敷があり、重要な場所。そこを壊して欲しくない。
- ・高円寺というまちを愛しているし、高円寺の商店街も大好きだ。人情のまち。そういう面では良いところだと思っている。高円寺という文化を壊して欲しくない。
- ・まちの課題については、その時その時で、皆で軌道修正してやりたいときに直していけば良いことで、大げさになにかやるというやり方はまず杉並区には合わないと思う。
- ・長年住んでいるが、その時その時で自然と何かやっていく。それで今の高円寺はできている。
- ・高円寺は人も多く活気があって、そういう意味では人の見る目があるので安全。そういったところはすごく良いので残していければと思う。
- ・街灯が少ない。
- ・エトアール通り商店街は明るい道沿いのため歩きやすく、帰り道にも良いと思うが、当該整備エリアはそれに比べ暗いので治安面・安全面は実際のところどうなのか。
- ・昔から住んでいる方がたくさんいてそこも良いところではあると思うが、地域コミュニティがあり結束力がある分新しい人が入りづらいということや、長年暮らしている人たちがいなくなったその先はどうなっていくのかということを感じた。
- ・話を聞いていると、道路を拡幅するというのは都の管轄で、既に決まっているので今更変えようがないということなのか。
- ・当該エリアは事業認可を既に受けてしまっているが、高円寺は反対する地権者がいることで事業認可を受けていても整備が進んでいない箇所が多数ある。
- ・長い人では80年、90年住んでいて、短い人でも20年、30年住んでいる。それだけ良い所。
- ・JRの変電所があるあたりに昔は交番があった。予算が削られて無くなってしまった。高円寺南五丁目の交番が高円寺北一丁目も兼務している。また復活してほしい。ただ治安はすごく良い。
- ・人通りが少ないのは昔から。車も少なかった。道が狭い・中央線の高架下の話もあるので大型トラック等は通らない。学童の学区域内でもある。少し入れば住宅街。高円寺北一丁目という

のは非常に住みやすい場所で良いと思っている。

- 商店街も近いし駅にも近いし歩いて来る場所なので利便性が良い。だからこそ道幅を広げるといのは理解しがたい。そんな場所ではない。
- 高円寺北一丁目も建蔽率が変わってそのうち中高層のビルも建つようになると思う。高円寺というまちでそうなるのが嫌だ。
- 大きな資本を呼んで回っている町ではない。
- 事実上の条件が揃えばディベロッパーは来る。
- 開発にかかるお金はどこが出すのか。税金の無駄遣いみたいなもの。

- バスを通すほどのものではない。あっという間に過ぎてしまう。
- 以前に比べて交通量が半分になっているという話があった。ではなぜ道幅を広げるのか。意味のない事はやめてほしい。無駄な労力を地権者・住民側としても使いたくない。

- 防災の観点でソフト面を考えていき、まず住民それぞれが義務を果たす・やれることをやっていくというのが最初ではないか。交通量まで減っているというのであれば、まるで説得力がなく全く必要のない整備に思えてしまう。
- 阿佐ヶ谷こそ整備すべき。路地裏があり災害時に逃げ遅れる人が出ると思う。

- 住宅街に小さなお店が何気なく点在しているというところが若い人には良いらしい。若い人が結構来る。
- スーパーもたくさんある。阿波踊りなど様々なイベントもあり良い場所だと思う。
- 長く住まわれている方がたくさんいて温かい雰囲気がある。

- 火災発生地域だと思うので、防災のソフト面を住民で強化していくことが重要かと思う。
- 今の計画道路幅は防災の役割を本当に果たすのか。100m無いと実際に機能しないという話もある。
- 線路があるので南側～北側間の延焼を防ぐことができるというのはあるのかもしれないが。
- 防災面の議論についてどこまで検証されているのかというのは疑問。ちゃんと実証されていないのではないかという疑念はある。
- 火災時に消防署が来ないとすれば風向き次第で燃えてしまうと思う。結局逃げる場所を確保しておかないと、この道路だけ整備しても防災の観点からすればあまり意味がないような気がする。

- 自転車にやさしいまちづくりということが主眼。これだけ交通量が減ってきて、自動車についてはあと数年もすれば自動運転の技術もレベル4まで達すると言われている。そういった面では自動車というものを中心に考えるのではなく、自転車にフォーカスすべき。
- 自転車は半径15Km以内であればとても有効な交通手段になる。

- ・道路を拡幅し交通量を増やすということはCO2削減になるとは思えないので、そこは建築家の方と合わせて本当にまちづくりをこれからどうしたら良いのかを考えてほしいと切に思う。岸本区長に対する期待でもある。
- ・歩いている人からすると自転車は怖いものなので、安全面は重要。歩行者と自転車の分離ができるとうい。
- ・自転車はやはり有効な足だと思うので、後付けで行き場等を考えるのではなくて、計画を立てそれを実証して成り立つかどうか、その精査を行うということが必要。
- ・高円寺は南北にも長いまちで、特に中野の大和町の方からたくさん来る。彼らはかなり歩いて駅まで来ていると思うので、その辺の声をすくって欲しいと思う。
- ・高円寺の駅だと自転車を停めておくところが意外に無いので、もう少しちゃんと停められるところを増やしても良いのかもしれない。
- ・自転車ポートは必要だと思うが、今は歩道から乗り上げる形が普通。道交法の改正もあり、自転車は車道を走るため道路側から停められるようなポートを増やして欲しい。ガードレールがあり、歩道側から停めざるを得ないという状況は改善すべき。
- ・池袋の芸術劇場エリアのまちづくりで、あそこはジグザグに道を作っている。信号機は無くても人が渡ろうとすれば自動車が自然と停まる。それは銀座でも日本橋でも言える。そういったまちづくりを目指して欲しいと思う。その中心として自転車が重要な役割を担っているのではないか。
- ・阿佐ヶ谷の駅と青梅街道のところは、自転車で歩道を通ってしまったり車道を通ったりとミックスだが、あのエリアは駐車できるようにしているので、結構狭くなる箇所があり危ないので、なんとなく車道を通りにくいようなところがある。そういうところもうまく改善できればと思う。
- ・ヨーロッパでは道路の区割りは歩行者・自転車・車それぞれが通る道が整備されておりきちんと区切られている。そういう風になっていくと良い。
- ・ヨーロッパのようにしていくには、結局道路幅員をそれなりに確保しなければならないという話になるのではないか。
- ・例えば一方通行にする等工夫のしようはあるのではないか。
- ・地方でそういったことを実施しているところはある。
- ・高円寺は交流という意味で言うと、南北で分断ということは少ないと思う。一方通行同士が高架を挟んでいてもやれないことはないと思う。
- ・山手通りは地下に高速を通す。山手通りの交通量は減ったし、あれは理想的。杉並区は光化学スモッグの発令は増えた。環七もできるのであれば、地下を通して欲しい。
- ・日本で自転車事故がなぜ起きるのかということを経営にも考えてもらいたい。道路から入って

くるから、交差点で見通しが悪くなるというのがある。死角が増える。交差点は自転車の事故率が結構高いと思う。

- ・ 極端な言い方をすると、自動車は1人乗って3～4人分は空室だったりする。それでガソリンを使って走られた日にはたまったものじゃない。
- ・ L R T等モビリティの活用が地方で活性化している。
- ・ 今の計画は何十年も前の話で時代に逆行している。地方では廃止されている路線がいくつもある。
- ・ 杉並区では道路整備の達成率が2割程度しかないというような話もあった。地元住民がそれだけ反対している。
- ・ 今のA I 技術等最新の技術をまちづくりに活かしてほしい。
- ・ 荻外荘公園でモビリティバスを走らせているが、あれは非常に良いこと。あれが未来。
- ・ バングラデシュでは国土の3分の1が水没している。待ったなしの状況。
- ・ 今回の開発の意味が分からない。なぜ拡幅するのかの意味が何となく分からない。何十年も前に決めたことであって、計画について区が都に言う、都が国に言うことはできるのでは。
- ・ 道路整備のメリットが良く分からない。防災といっているが、じゃあその防災とは一体なんなのか。単純に「防災」という言葉だけで片付けてしまうと、一見よさげに聞こえるし、やらなければならないように聞こえるが、それをさらに一段二段つきつめないと本当のメリット・デメリットは見えてこないと思う。そういったことをやらないでそのまま突き進めるとするのは、税金も使うわけなのでまずいのではないか。
- ・ 今の状況で、今回の計画に税金を使うということであれば、子供のため等もっと将来のためになることに投資してもらわなければ、税金を払う側としては、思いと異なる形になる。
- ・ 馬橋公園の整備事業計画時は説明型だった。ディスカッションもなく、計画を展示されて、こうなりますよという説明を受けるだけだった。それと比較すると今回のプレストはだいぶ趣が違うなと思った。
- ・ 今回のようなディスカッションはもっと時間をかけて実施してほしい。前区長の時から進め方が早急すぎる。なぜこんなせつかに物事を進めようとするのか。
- ・ もし計画を実施するのであれば、J R沿いを整備していくわけなのでJ Rとうまく協調したプランを実施していかなければ、単独でやっても制限がかかりあまり良いアイデアは出てこない

と思う。制限をなるべく外すことができるような計画にしていかないともったいないと思う。

- 当該エリアの道幅を広げなくても、南と北で併せて一方通行同士にし、リノベーションすれば良いのでは。
- 計画前提ではなく、車の通行方向を工夫するという実証実験をして、どれだけの改善効果があるかというのを合理的にやる価値はあると思う。そういった発想がなぜ出てこないのか。
- 大久保通りや早稲田通りもそうだが、ああやって循環させればよいと思う。
- 高円寺は、道幅はある程度広いので、リノベーションで充分だと思う。
- 循環でどうしても追いつかないところは道路幅員を広げる等、いきなり道幅を広げる前に検証すべき点はあると思う。

- 今でさえ中野区境の突風がすごい。セントラルパークだけで高円寺北一丁目の方に風がすごいくる。
- 今日、セントラルパークに立ち寄ったがセントラルパークというにはとても寂しい気がした。日曜日だというのに、人もたくさん集っているわけでもなくただの空き地があるぐらいの印象だった。歩いてみるとオフィス街のようになっていて、丸の内のある一角を歩いているのとあまり変わらない。

- この寒い時期だから人がいないのかもしれない。夏場はテントを張る人がいるくらい、普段は結構人がいる。
- 確かに気候が良いときは人が集まっているのかもしれないが、せっかくあれだけのスペースがあるので冬も人が集うようにできないものか。
- 東北の震災復興のイベント等、寒い時期にもイベントを実施している。
- 飲食街の建物は閑散としている。お客さんは入っていない。
- 入っているお店はチェーン店ばかりなので、個人的には行く気がしない。北口の飲み屋街の方にどうしたって行ってしまう。あちらの方がお店のバラエティはいろいろあるので。特徴のあるお店が入っていないから流行らないのだと思う。
- ホットケーキの有名なお店はあるが、一軒あっても苦しい。
- 特徴のある店がたくさん入っていないと人なんて集まってこない。

- 阿佐ヶ谷～高円寺間の高架下は最初イベントスペースだった。照明も暗く、閑散としていたが3年ほど経って入れ替えてようやく少し活気が出てきたと思う。
- 阿佐ヶ谷～高円寺間の高架下は雨に濡れずに行けてすごく良い場所だと思う。
- 駐輪場と駐車場のあたりは少し暗く物騒。
- 昔と比べればだいぶマシになった。以前は専門的なお店が入っており歩きづらかったが、今は地域に住んでいる人たちが入れる店が並んでいるので人も増えた気がする。

- ・明るいまちが良い。
 - ・街灯のLEDは何とかならないものか。明るすぎる。
 - ・マンションでも明るすぎて部屋の窓の隙間から光が入る。
 - ・LED照明はエネルギー効率で言うと勝っているが、明るすぎる。
 - ・光害ということで社会問題になっている。
 - ・電球とか普通の明かりの方が好き。若い人も含めみんなそうだと思う。
 - ・古い場所と新しい店が混在しているのが高円寺だと思う。
 - ・個人商店が多いのが高円寺らしくて良い。
 - ・若い人にはカフェが人気。朝から並んでいる。チェーンが増えてほしくない。
 - ・商店街というのはチェーン店が増えると衰退していく。高円寺駅前も気を付けなければならない。世代交代が起きてしまっている。
-
- ・持続可能な方法でリノベーションして欲しい。
 - ・高円寺では下手な店はあるという間に潰れる。
 - ・チェーン店が増え、昔に比べて家族で行くようなお店が減った。飲み屋は多い。
 - ・高円寺はタバコを吸えるところが多い。喫煙者に優しいまち。
-
- ・このまちで大事にしたいと思うことは静かな住宅街である。
 - ・現在、ほとんどの家が戸建てのため、道路を歩いても、空が全部見える。また、道路自体の日当たりが良い。ビルが連立していると、道路は日陰になる。風通しよく日当たりよく大きな空が広がっているというのは、低層住宅地帯だからである。それが一番この街でいいなと思っている。
 - ・今度この道路拡張で16m幅になると、建物の高さ制限がなくなる。道路を広げると、ものすごい高層ビルが建てられる。この高円寺周辺は高層ビルが建てられないエリアとなっている。
 - ・221号線の拡幅に伴い、環状七号線と中野を結ぶ通りが出来てしまうと、交通は便利になる。早稲田通りも幹線道路であるため、221号線と早稲田通りを繋ぐ路地というこれは通り抜け道路になるし、ものすごく便利なところになる。そこから、不動産屋からの連絡が絶えない。それくらいこの地域が便利なところになる。
 - ・大好きな広い空と日当たりのいい道とこういう静かな住宅街の環境がなくなってしまうため、これだけは残してほしい。
-
- ・私が大事にしたいものは、徒歩と自転車でも何でも済むみたいな環境が良いのかなと思う。杉並あたりだと徒歩と自転車で小回りが利くというのもある歳をとって運転できなくなっても、ベビーカーを押して歩いたり、車いすでも安全に使えるというのがいいと思う。
 - ・まちの課題は、災害対策の課題はどこのまちに住んでも一緒なのかなと思っている。
 - ・この道路を拡張してこの道路にどんな機能を持たせるのか。何が目的だということ、明確ではない。

- ・杉並区が言ったことに対して区民がそうですよねと納得ができるような施策をしてもらわないと困る。ルールを作ったのだったら、ルールは守るようにちゃんとしていただきたい。
 - ・当たり前のことを当たり前にみんなが思っているような環境っていうのが大事だと思う。住民としてはそういうことには本当はもっと意識をして自分たちは感謝しなくちゃいけないと思う。
 - ・拡張の理由として防災が挙げられるが、防災というのは幅広いため、ノーとは言えない。
 - ・道路の拡張や再開発で残したいものが減ってきている。これ以上減らさないで残してほしいということと、まずは自然を残したい。
 - ・この道路が拡張になったら、やはり通り抜け道路になるのが一番怖い。この地域、補助 221 号線との早稲田通りの間に保育園が二つある。家の前は保育園のお散歩道路や送迎道路となっている。子供たちが多く通る。ここが通り抜け道路になられたら、これはとても危険なことである。
 - ・ここに住む住民にとって、この道路が拡張されることで何かプラスになるのか。今のままで不便はないので、プラスになることがほとんどない。マイナスになることがほとんどである。道路拡張というのは良いことがない。中野区に住んでいる人にとってはプラスになると思う。
-
- ・北と南が分断されてしまう。
 - ・私達が苦しい状態になるのに、税金を使われても困る。
 - ・中野区の住民のために、杉並の安全空間を提供してあげるということになる。
 - ・中野区のためにやっているのであれば、本当に意味がない。
 - ・防災を目的としているというが、防災っていうとみんなノーと言えない。だから防災という。
 - ・道路が拡張したら、車は便利になるけど、人はっていうのは経験したことがある。(人は便利になったかどうか疑問) 救急車が入れないような道もあることを思うと拡張もやむなしである。
-
- ・防災というが、地域住民の普段のコミュニケーションが災害対策になっているようなまちが防災道路によって分断されちゃうというのは困る。
 - ・人と人が密で仮に高齢者の方が亡くなっても 1 日ぐらいで発見してもらえるような関係ができていないまちが絶たれてしまっただけは困る。
 - ・賛成と反対が明確ではない。住民が納得するような説明が必要である。
-
- ・希望としては緑を増やしてもらいたい。
 - ・高円寺学園があるところはたくさんの樹木に囲まれた広い校庭があった。しかし学校作った際に、全部木を切り倒してしまった。私達にとっては貴重な緑、森みたいな学校だった。それをなくしちゃったことは近隣住民にとっては残念なことである。
 - ・このエリアには杉並区の保護樹林がある。道路が拡張されてしまうと空はなくなり木がなくなるといことになるので、そういうことはやめて緑を増やしてほしい。
 - ・保護樹林に関しては、維持費はもらえるが切るのは勝手だというのはおかしい。保護樹林に対する考え方を見直すべきである。

- ・公園の緑を削らないで欲しい。
 - ・まちの育ち方っていうのがまちごとにあるのだと思う。その地域に目指したまちづくりが良いのではないか。
 - ・よそから移植してきたものが、これからの流行のまちですというのは難しいのかなと思う。
 - ・杉並区が落ち着かないまちになっている。まちが貧乏くさくなっている。全然豊かじゃない。
 - ・緑とは関係すると思うが、鉛筆ビルみたいなビルや、小さい住宅がいっぱい建つと、もう緑なんかありえない。
 - ・歩行者と自転車道を分けた道は、理想的には作りたいが道路が狭いから作れない。
 - ・気持ちが豊かにならない。
-
- ・杉並なんて杉という植物の名前がついているまちなものだから、青梅街道の辺りの並木道や中杉通りは、杉並の一つの象徴みたいなものである。だからあのような環境はできるだけいろんな形で増やすことはすごく大事だなと思う。
 - ・「緑」と「緑地」と「空地」があって混同して考えてしまっている。まちづくりや防災、子供たちの遊び場など共通して使えるものがある。「緑」だけで考えてはいけない。
-
- ・もともとまちは多様性のあるものである。開発によって、多様性を切り捨てている。
 - ・昔からの状態を残しておけば多様性である。
 - ・メリットがゼロである。
 - ・ここを広くした際の利点の想像がつかない。
-
- ・前向きに考えたときに、拡幅したら自分たちの生活にとって何が豊かになるのだろう。何がハッピーなのだろう。プラスのイメージの想像ができませんとなるとなかなか難しい。
 - ・この拡幅の話が突然息を吹き返して、決まっていますからやりますって言われても、新築の家を作った人が結構いる。
 - ・今まで何十年も作ってなかったのだから、できないだろうみたいに思うのは普通です。
 - ・道路が拡幅されると低層住宅地が外れるのではないかと心配している。
 - ・外国の真似しなくていい。
-
- ・全部道路にする必要はなく、駐輪場や広場や緑などを作ればよい。
 - ・人が集まるような空間は参考になると思う。土日に人が集まるなり、そこでお茶飲んだり、みんなプラプラしているという。さらに文化的な行事もあったりとか、そういうことができるような、空間が必要なのではないか。
 - ・車は20~30Km/hしか出ない。車は通るけどその周りで人が遊んでいられる。子供は安心。そういった道路が良いのではないか。
 - ・残したいものは自然であるが、事業を進めていくにはステップが必要。なぜなら、長年事業が動いていなかったからである。まずは、自然を減らさない。次に、自然を再生しなければいけ

ない。最後に防災である。

- ・長く住んでいるため昔の道路の様子とかも知っているし、高円寺の辺りのあの駅の変化とかそういうのも知っている。昔からの良い部分はやっぱり残してほしいというところもある。
- ・以前、中野区と境にマンションが建つという話があった。皆、大反対して区議会に働きかけて、署名を集めたりした。防災のことで公園が欲しいということで運動して公園ができた。その公園がほぼ一日中住民等に使用されていて憩いの場。今度道路が広がると、その公園が取り壊されて高い建物が建つのではという懸念がある。
- ・地域全体を高層化するということがとても心配。この道路が必要以上に広がることは不要だと思っている。今はすごく静かで、住んでいる方たちが家の前とかを掃除してるから本当にゴミもない。そういう環境をぜひ残してほしい。線路の南側はアパートが多いがゴミだらけで歩きにくい。他の区と同じように高層ビルや事務所が多いまちにしないで良い。
- ・私もこの地域の地権者。前提として区の説明も含め、法律的枠組みと行政の枠組みの中で、議論により計画変更可能なこと・不可能なことの区分けをはっきりしてほしい。計画変更不可能なことを議論しだしても仕方がない。我々の立場からすると道路計画の話は何十年前前から知っているし準備もしてきている。計画道路の事業認可が下りていて、区長も計画を止めるということは書いておらず進めていくはずなのでハウツーの話になってきている。
- ・どういうまちづくりがしたいかというところは、私も共通したところがあって、まちづくりの基本である地区指定は変えないでほしいということ。当時区の説明会で地区指定を変更するのか聞いたが、変更しないとの回答だった。その前提で話をしたいと思う。
- ・もう一つはやっぱりそうは言ってもいろいろ安心安全そういう面では大いに足りないところがある。それを改善する方法はぜひ考えてほしい。道のことは何か皆さん反対派の人はいろいろおっしゃってるけど、今、緊急車両なんかも入れるけど戻れない。
- ・今お年寄りも多いし、救急車もしょっちゅう来る。そういう意味でちゃんと整備してもらう方がありがたい。
- ・店の前にいろんな車が停まったりしているが無駄だということはない。コンビニもお店もあれば便利だし、介護関係の車もバンバン走っているが必要だと思う。両立しなくてはいけない。
- ・歩道をちゃんと整備してもらいたい。転んだ途端に車が来たら危険。ちゃんとマナーを守っている運転手さんだけでもない。
- ・昔ながらの家は高齢化のため世代交代がうまくいかない。子どもに譲ろうと思っても別のところで家を建てていて引っ越せない。そうすると相続問題で分割して売ってしまってそこにワン

ルームマンションが入ってきたりするので、規制をかけるのは難しいかもしれないが対策してほしい。

- ・空き家、違法建築物等を、多少お金をかけて整備してもらいたい。
- ・少子高齢化対策もしてもらいたい。以前若い人がいなくなったが段々周りに増えてきている。そのような人たちが住みやすいまちにしてほしい。
- ・当該エリアではないが区内在住。在宅ワークで、セントラルパークに毎日のように行っていて仕事をしていた。すごい広くて飲食店もあり良いなと思って、週5回通っていた。都市計画としては、基本的にはシンガポールみたいに容積率を高くしてほしい。
- ・ある程度広い公園で毎日集まれるようなところが確保してあると良い。
- ・ピンク色の看板を整備してほしい。
- ・今は容積率 80%の地域に住んでいるが 200%のところとは雰囲気が違う。一般の住居についてはある程度集約化をするような形で容積率を上げていくという案。
- ・中野駅前前は開発が進んでいるが、杉並区は住む人がメインのまちというコンセプトを維持してほしい。
- ・みどりと空間と水がテーマになる。地下水等を活用したまちづくりをしてもらいたい。歩道と車道との間にちょっとした水路が流れているのが良い。歩道を楽しい空間にしてほしい。歩行者にやさしくしてほしい。
- ・生活道路、通学路に関しては歩行者メインで車が走りにくい道路にしてほしい。
- ・年配者にとってそれは苦痛。宅配も来にくくなる。
- ・車が1台停まったら後続車が通れないくらいの車道が良い。
- ・コロナ禍で会話やコミュニケーションが減ってしまったと思う。拡幅工事も大事かもしれないが、人と人が繋がるような関係の距離感を作ったりするのが良い。例えば小さな神社とかお地蔵様とかがあれば、なんとなく皆安心して会話できると思う。
- ・花を育てているが、それがあれば会話もできるしご老人の方の健康チェックにもつながる。
- ・まちの課題としては一人暮らしのお年寄りの居場所が減ってきていることと、引っ越して来たばかりの若い世帯の動向が分からないこと。お子さんがいる家庭は相談先が分からないのではと思う。
- ・交通量の多い甲州街道や鎌倉街道があるが、杖や車いすを使う方にも優しいまちになればと思う。
- ・個人の社、保護樹林、井戸などを歴史として残した方が良いというのは身勝手な話。社を建て直しても誰も寄付なんかしないし税金で対応するのはおかしい。そこが行政でやること・法律でやることの区分け。私権に立ち入ることを我々が決めるのかと思う。

- ・16mの幅になるということで、それは今高円寺駅から環七までと同じ幅になるということ。その状況が今回の道路にも繋がってくると考えた方が良いと思う。高円寺～環七は高架下にも店はあるが、221号線は高架が低いため、今店はない。
- ・店はある。
- ・道路が広ければいくら反対しても高いビルが建つことは可能だと思う。高円寺～環七の道路状況に高い建物ができるのではと想像する。
- ・容積率の規制等を変えなければ建てないのでは。
- ・環七からたかはら公園のどこまでまだ高架。一階は商店ではないが貸し倉庫があったり事務所があったりしている。そこにむしろお店出させて儲けた方がいいのかもしれない。あんまり変な飲み屋はつくって欲しくないが、だから向こう側に何もないってことには多分ならないと思う。
- ・区境のところが変な二重道路になっていて、そこに新しいセントラルパークの道が並行してできている。そこには我々は柵があって自動車が通れないようになっている。すごい無駄な土地が発生しているため整備してほしい。
- ・中野との通り抜けになっているという話だが、実際の計画はKDDIのビルのところで曲がって駅前広場の方に行くということだった。向こうから高円寺方面に来る人のニーズは何か。中野でタクシー拾って環七を抜きたい人は今もいると思うが、交通量はそんなに増えないのではと思う。セントラルパークの住民が車を持てば多少通るかもしれないが、バンバン車が通るとは思わない。高円寺から先に抜けて線路沿いが商業用にも使われるようにでもなれば別だが当分できそうもない。意外と交通量に影響しないと思う。少ない住民のためにバスも通さないと思う。
- ・歩道を広げるだけだと生活者はむしろ困る。以前は子どもが地区に10数人しかいなかったが、今は新しく引っ越してくる人は、家は広くなくても皆良い車を持っている。それでお子さんと出かけるのに車を使っている。むしろ車が出るようにしてほしい。
- ・年配者は救急車を呼ぶ。前に車両が停まっていて通れないとなったら危険なのでそれはやめてほしい。
- ・環七との横断歩道がある意味危険。小学校に行くのにわざわざ歩道橋を渡れとなっている。極力負担がないようにしてほしい。
- ・歩道が広くなると自転車が走るようになるので自転車が走りにくい歩道にしてほしい。車いす等は通れるように。横断歩道に車止めという案はどうか。
- ・区長は「23区で一番自転車で乗りやすいまち」にしたいと言っていたがその前に必ず「歩行者にやさしい」といった文言を付けてほしい。
- ・自転車専用道路は怖いのでなんとかしてほしい。
- ・歩道を広くするということは、自転車対策を十分に取ってほしい。

- ・キックボードも怖いので対策してほしい。これから増えそう。
 - ・道が広くなっても車が便利になるとは思えない。
 - ・区境の通りは細くすれ違えるスペースがほぼない。ただ、朝など所沢ナンバーとかがいっぱい通ってきていて、帰りも通っている。抜け道になっている。
 - ・早稲田通りも渋滞している。
 - ・拡幅したら早稲田通りから 221 号線に流れるかだと思ふ。ただ、早稲田通りも拡幅を予定している。それがどの程度影響してくるか。
 - ・恐らく大和町からの早稲田通りを越える信号が変わると、ものすごい数の自転車が来る。恐らく駅に向かう、南に抜けていく自転車。ゴミを捨てに行くときも危ない。道路が拡幅しても状況改善しないと思ふ。
-
- ・そもそも道路計画は変更できるのか気になる。
 - ・計画等について、よその地域の人にとやかく言われる話ではないと思ふ。
 - ・線路下の話だが、ある意味一般のお店とかは使いにくいのでロードルーターとかトラック集積場とかになっている。立ち退きをしないといけない店が入ったらよいし区が補助してあげれば良い。他でやっていないことをやるとえこひいきになるかもしれないが。我々の立場からするとたくさんそこに飲み屋ができて、学生などが来るのは嫌だが。
 - ・線路下の用途制限は何なのか。
-
- ・国交省は進展していない道路計画の見直しを勧めている。無理に計画を押し進めないよう勧めている。全国で結構見直されている箇所がある。東京都は見直したのが 2 か所しかない。都下ではよく見直されている。議会への働きかけが必要。
 - ・そういう考えならなぜ今までやっていないのか。なぜ今頃言っているのか。住民はこれまで犠牲を払って準備してきている。反対運動など聞いたことない。
-
- ・話し合いができるようになったことは良いことだと思う。私が住んでいる箇所とは違うが目的は住みやすい杉並区ということで共通していると思ふ。
 - ・柏の宮公園はソフト面も含めてすごい良い。お米を皆で育てたり、柏の宮自然の会や水田や茶室などもある。公園の中で催しがある。
 - ・コロナ渦をきっかけに自然がある箇所への引っ越しを考えた。
-
- ・高架下は低いので利活用しにくそう。トラフィックなものを取れない。
 - ・高架下を活用するにしてもみどり豊かな公園はできにくい。
 - ・高架下で野球の教室をやっている。青天井の屋外がよいかというと必ずしもそうではない。子どもがコミュニティを作りたいなら作ってもよいと思ふ。ニーズがあれば市場が決めてやる。そこではできないというなら区が介入してお金を出すのかといった問題だと思う。店の問題もそうだが今倉庫を使っているところにパン屋さんを引っ越してあげるといった考えもあると思ふ。

うが、区が交渉に立ち会ってあげるなり補助金を出すなりしないと、JRも何年やるかわからない店には貸せないと言うと思う。どこまで行政がやるのかといった問題。

- ・中野区との区境は遊休地。小さなお店で良いならそこを買い取って道へのアクセスをよくすれば良い。
- ・町内にみどりを増やすのは無理。ワンルームマンション等に変えてしまうし。維持費も高い。
- ・道路が広くなっても狭くなってもまちづくりは良いところを見つけて進めた方が良い。良いところは一人暮らしの高齢者が住みやすいような場所を作るなど。若いお母さんが助けを求められる人を作るなど。土地、家、建物よりそちらの方に注力したほうが良いと思う。
- ・高架下は暗いが、集会所などはできると思う。極小ショップなどをチャレンジしてもらうのも良い。子どもが何かやっても良い。お母さんがストレスを抱えているのでその手助けになれるような場所も良い。
- ・そこは人の問題だと思う。助けになるような民生委員は高齢だが頑張っている。若い人達は町会に入らない。町会費も払わない。回覧板が届かない。そっちのほうがずっと問題。場所がないわけでも人がいないわけでもない。担い手となる中間層もなかなかいない。
- ・町会という制度もどこかで塗り替えないといけない。マンションも町会でなく、マンション組合の方で自治をやるようになっているが、ここはあまりそういうのがない。ワンルームマンション10戸で組合もやらない。
- ・最近独居老人2人が亡くなっていてずいぶん経ってから発見された。そういう方がどこに住んでいるかを区は教えてくれないので、そのような人たちを知る手立てがほしい。周りにも増えてきている。拡幅したら道路の横断も大変なのでは。今までみたいに好き勝手に横断できない。
- ・そもそも横断する必要があるか。お店ができるなら横断しないとけない。そうでないなら横断する必要がない。極論向こう側に歩道がなくてもよいと思う。こちら側を広くするならそれもアイデア。
- ・そこは自転車ということになる。
- ・高架下の活用と道路計画はセットになると思う。
- ・南側は道路が拡幅されたら一つのまちだと思えなくなる。分断される感覚。
- ・信号を作るかどうか。例えば車一台しか通れない場所が広がったら渡りやすくなる。作ればよいと思う。
- ・大久保通りで両側住宅がある地点で信号設置を要望してもつかない。221号線でも付かないのではないか。
- ・高架のたかはら公園のところには信号ができてほしい。
- ・セントラルパークのマクドナルドやスターバックスでコロナ渦前から仕事をしていた。自宅の近くにはそのようなサードプレイスがあったらよいと思う。

- ・自転車で大通りを走るのは怖い側面もある。

以上